

HPE 3PAR StoreServ 8000 ストレージクックセットア ップポスター

摘要

この Hewlett Packard Enterprise (HPE) のポスターでは、HPE 3PAR StoreServ 8000 ストレージのセットアップの概要を示します。設置の支援が必要な場合は、HPE の営業担当者または HPE チャンネルパートナーに連絡し、HPE デプロイメントサービスを購入してください。

© Copyright 2017, 2017 Hewlett Packard Enterprise Development LP

部品番号: C8S11-93050
発行: 2017 年 2 月



* C 8 S 1 1 - 9 3 0 5 0 *

準備



重要:

このポスターでは、初回の取り付けについて説明します。再取り付けを行っている場合は、Hewlett Packard Enterprise のサポート担当者にお問い合わせください。

お客様によるセルフインストールビデオ:

- www.hpe.com/support/3PAR8000CSIVideo

マニュアル:

- HPE 3PAR StoreServ 8000 ストレージセルフインストールガイド:

www.hpe.com/support/3PAR8000CSI

- HPE 3PAR StoreServ 8000 Storage Series Cabling Configuration Guide:

www.hpe.com/support/3PAR8000Cabling

このポスターで参照するマニュアルは、Hewlett Packard Enterprise Information Library の Web サイトおよび SPOCK の Web サイトで入手できます。

- www.hpe.com/info/storage/docs
- <http://www.hpe.com/storage/spock>

参考情報:

- <http://www.hpe.com/support/hpsc>

インストールの前提条件:

- ストレージシステムを環境順化させます。ストレージシステムが完全に環境順化するまでは電源を入れないでください。環境順化には最大 24 時間必要です。それでもまだ結露がある場合は、電源をオンにする前に完全に蒸発するまで待ちます。
- 最初に開けてくださいの箱に入っているソフトウェアセットアップワークシートにすべて記入します。
- Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) の Web サイトのリソースと、Hewlett Packard Enterprise Information Library で入手可能なホスト OS 実装ガイドに記載された情報に基づいて、ホストおよび SAN 環境を構成します。

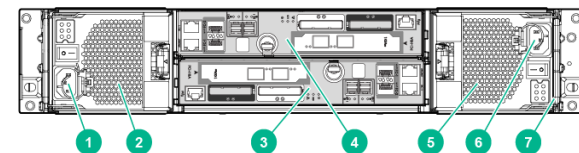
インストールに使用する工具:

- 静電気放電 (ESD) ツール: ESD マット、ESD アース用ストラップ
- ラック開梱ツール: L 字ブラケット出荷用クランプを取り外すためのソケットレンチと 13 ミリおよび 17 ミリのソケット、ラックの水平脚を調節するためのモンキーレンチ、輸送用ケーブル固定ブラケットを取り外すためのドライバ

- レールキットとエンクロージャーの取り付けツール: P1 および P2 プラスドライバ、T25 トルクスビット付きドライバ

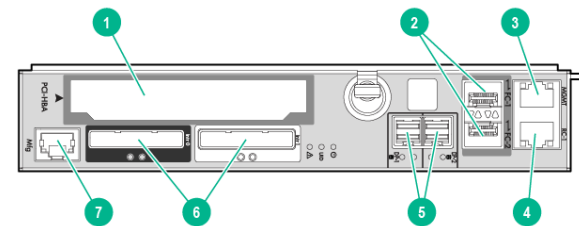
コンポーネントの識別

コントローラーノードエンクロージャーの背面図



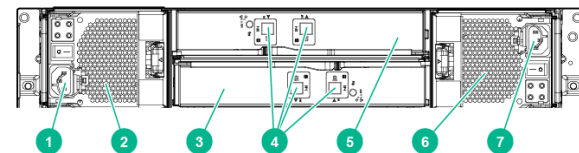
1. 電力接続 0
2. 電源冷却モジュール 0
3. コントローラーノード 0
4. コントローラーノード 1
5. 電源冷却モジュール 1
6. 電力接続 1
7. HPE 3PAR StoreServ ストレージのシリアル番号

コントローラーノードのポート



1. PCIe ホストアダプタースロット (オプション)
2. オンボードファイバーチャネルポート (FC-1、FC-2)
3. Ethernet ポート (管理)
4. Ethernet ポート (RC-1)
5. SAS ポート (DP-1 と DP-2)
6. クラスターインターコネクトリンクポート (Intr0、Intr1)
7. コンソールポート (MFG)

スモールフォームファクター拡張ドライブエンクロージャーの背面図



1. 電力接続 0
2. 電源冷却モジュール 0

3. I/O モジュール 0
4. SAS ポート
5. I/O モジュール 1
6. 電源冷却モジュール 1
7. 電力接続 1

ハードウェアセットアップ

ハードウェアセットアップについての詳しい説明は、HPE 3PAR StoreServ 8000 Storage Customer Self-Install Video および HPE 3PAR StoreServ 8000 ストレージセルフインストールガイドに示されています。

ラックに工場組み込みされたストレージシステムのセットアップ

手順

1. 2 人以上でラックを木枠から移動させ、その後ラックから梱包材を取り除きます。
2. ラックを最終的な位置に移動します。次にモンキーレンチを使用し、ラックが安定して水平になるように水平脚を調整して固定します。
3. 輸送用ケーブル固定ブラケットを取り外します。
4. ドライブは工場に取り付けられているため、ケーブル接続のセットアップに進みます。

ラックなしで工場組み込みされたストレージシステムまたは現地統合されたストレージシステムのセットアップ

△ 注意:

エンクロージャーの持ち上げは常に 2 人以上で行ってください。また、胸より上の位置に持ち上げたり、ラック内でストレージシステムを再配置したりする場合は、3 人以上で行ってください。静電気放電によるコンポーネントの損傷を防ぐため、適切なアースによる予防措置を行います。開梱したコンポーネントを ESD マットの上に置き、取り付け中は ESD アース用ストラップを着用します。

手順

開梱:

1. 装置を傷つけたり怪我をしないように、すべてのコンポーネントを注意深く開梱します。

エンクロージャーごとに1セットのレールキットを取り付け:

レールキットは、エンクロージャーの種類によって異なります。

- レール溝型材の一方の端をラック支柱の穴に合わせ、位置決めピンをラックの穴に通して押し込みます。

レールの **FRONT RIGHT** および **FRONT LEFT** はレールのラベルに表示されています。

- レールをラックの前後に固定します。

エンクロージャーの取り付け:

- エンクロージャーの上部が上になっていることを確認します。エンクロージャーの上部には警告と規定のラベルがあり、下部にはラベルはありません。
- エンクロージャーの両側のベゼルキャップを一時的に取り外して、取り付け用の穴を露出させます。
- ラック前面で、エンクロージャーをレール上に合わせてスライドさせ、両側に取り付けネジを取り付けます。

2U エンクロージャー: 2本の T25 トルクス長ネジ

4U エンクロージャー: 4本の T25 トルクス長ネジ。それぞれの側で1本はレール内、もう1本はケージナット

- 両方のベゼルキャップを取り付け直します。

- エンクロージャーの背面の両側で、2本の T25 トルクス (短い方) 据え付けネジを差し込み、締め付けます。

オプション:

- 梱包箱に入っている手順書を使用し、物理サービスプロセッサを取り付けます。

ドライブの設置

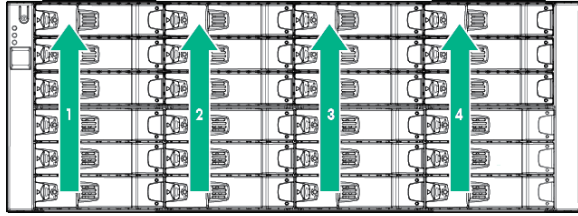
❗ 重要:

ドライブの設置、割り当て、バランス調整のガイドラインは、*HPE 3PAR StoreServ 8000 Storage Customer Self-Install Video* および *HPE 3PAR StoreServ 8000 ストレージセルフインストールガイド*に記載されています。これらはシステムのパフォーマンスと信頼性にとって重要です。

エンクロージャー前面: スモールフォームファクタードライブの装填順序



エンクロージャー前面: ラージフォームファクタードライブの装填順序



ケーブル接続のセットアップ

工場組み込みされたストレージシステムの場合は、ほとんどのケーブル接続のセットアップは出荷前に完了しています。以下の接続が完了していることを確認します。この時点では**電源を入れずに**、HPE 3PAR StoreServ ストレージコンポーネントの電源投入の特定の順序に従った**セットアップの電源投入**に進むまで、電源はオフにしておきます。

コントローラーノードエンクロージャーのケーブル接続について

- ストレージシステム管理接続:** コントローラーノードの管理ポートとネットワーク間でカテゴリ 5 の Ethernet ケーブルを接続します。コントローラーノード 1 台に対しケーブルは 1 本使用します。
- ホスト接続:** コントローラーノードの FC ポートとスイッチ間でファイバーチャネル (FC) ケーブルを接続するか、ホストに直接接続します。コントローラーノード 1 台に対してケーブルは 1 本使用します。各ホストは、冗長性を実現するため、ストレージシステムごとに 2 台以上のコントローラーノードに接続する必要があります。CNA ホストアダプターでは、FCoE 接続または iSCSI 接続が可能です。
- Remote Copy (オプション):** コントローラーノードの RC-1 ポートと別の HPE 3PAR StoreServ 8000 ストレージ間で Ethernet ケーブルを接続します。
- File Persona 接続 (オプション):** コントローラーノードの RC-1 ポート (またはオプションのホストバスアダプター) とネットワーク間で Ethernet ケーブルを接続します。
- 電源の接続:** 黒色のケーブル (左側の PCM 0 に接続) と灰色のケーブル (右側の PCM 1 に接続) を、それぞれ独立した電源に接続します。ただし、**まだ電源はオンにしないでください。**

拡張ドライブエンクロージャーのケーブル接続(オプション)

- I/O モジュールからコントローラーノードへの接続:** ストレージシステムの構成に基づき、ケーブルを接続します。*HPE 3PAR StoreServ 8000 Series Cabling Configuration Guide* を参照してください。

- 電源の接続:** 黒色のケーブル (左側の PCM 0 に接続) と灰色のケーブル (右側の PCM 1 に接続) を、それぞれ独立した電源に接続します。ただし、**まだ電源はオンにしないでください。**

物理サービスプロセッサのケーブル接続 (オプション)

- サービスプロセッサ管理接続:** ストレージシステムと同じサブネットを使用して、サービスプロセッサ管理ポートとネットワーク間で Ethernet ケーブルを接続します。
- 電源の接続:** 電源に電源ケーブルを接続します。ただし、**まだ電源はオンにしないでください。**

パワーディストリビューションユニットと電源ケーブルの接続

- 電源の接続:** 最適な冗長性を得るために独立した電源に PDU 電源コードを接続します。ただし、**まだ電源はオンにしないでください。**

セットアップの電源投入

手順

- パワーディストリビューションユニット (PDU) にあるサーキットブレーカーの電源を入れます。
- 該当する場合、ラックの電源ケーブルの電源を入れます。
- 物理サービスプロセッサの場合、電源を入れます。
- ドライブエンクロージャーの電源冷却モジュール (PCM) の電源を入れます。
- コントローラーノードエンクロージャーの PCM の電源を入れます。
- ストレージシステムの起動とセルフテストのルーティンが完了し、キャッシュバッテリーが充電を開始するまで約 **10 分**待ちます。
- すべてのコンポーネントのヘルス LED が緑色であることを確認します。電源投入後にコンポーネント LED が橙色の場合、問題のトラブルシューティングを行います。

サービスプロセッサのセットアップ

セットアップの詳細な手順については、Hewlett Packard Enterprise Information Library の Web サイトで入手できるサービスプロセッサのマニュアルを参照してください。

❗ 重要:

サービスプロセッサとストレージシステムは同じサブネット上にある必要があります。

仮想サービスプロセッサのセットアップ:

- サービスプロセッサ (VMware ESXi または Hyper-V) をデプロイします。
- サービスプロセッサの IP アドレスを取得し、それをソフトウェアセットアップワークシートに記録します。

- VMware ESXi: DHCP で IP アドレスを取得します。DHCP を使用しない場合、VMware vSphere Client を使用して IP アドレスを割り当てます。
- Hyper-V: Hyper-V Manager を使用して IP アドレスを割り当てます。

物理サービスプロセッサのセットアップ:

サービスプロセッサの IP アドレスを割り当て、それをソフトウェアセットアップワークシートに記録します。

ソフトウェアのガイド付きセットアップ

このソフトウェアのガイド付きセットアップ (HPE 3PAR OS 3.3.1) は、SmartStart ウィザード (HPE 3PAR OS 3.2.2) に替わるものです。初回インストールでは、ガイド付きセットアップはサービスプロセッサとストレージシステムを設定するために使用します。ストレージシステムのソフトウェアセットアップについての詳しい説明は、*HPE 3PAR StoreServ 8000 Storage Customer Self-Install Video* および *HPE 3PAR StoreServ 8000 ストレージセルフインストールガイド*を参照してください。

セットアップ中は、記入済みのソフトウェアセットアップワークシートを参照してください。

手順

- ガイド付きセットアップを開始するには、ブラウザーを開き、サービスプロセッサの IP アドレスに接続します。

`https://<sp ip_address>:8443`

IP アドレスに接続するときに、「この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります」または「この接続ではプライバシーが保護されません」など、ブラウザーの警告が表示されることがあります。使用しているブラウザーに基づき、Web サイトを続行するか、高度なオプションを選択するかをオプションから選択してから、続行または例外の追加を選択してください。

- セットアップの 3 つの手順を開き、表示しているガイド付きセットアップウィンドウで、**続行**をクリックします。その後、表示された手順に従い、SP およびストレージシステムをセットアップします。

SSMC のインストールとセットアップ

HPE 3PAR StoreServ Management Console (SSMC) ソフトウェアは、お使いのホストサーバーに対してストレージを定義、作成、およびエクスポートし、ストレージシステムの状態を監視するためのツールを提供します。SSMC のログイン認証情報については、記入済みのソフトウェアセットアップワークシートを参照してください。SSMC のインストール、セットアップ、使用方法については、Hewlett Packard Enterprise Information Library の Web サイトで入手できる SSMC のマニュアルを参照してください。

SSMC のタスク

- ストレージシステムを追加します。
- ストレージシステムのヘルスチェックを実行します。
- 工場組み込みされていない場合、ライセンスを設定します。
- ホストを構成します。
- 共通プロビジョニンググループ (CPG) を作成します。
- 仮想ボリュームを作成し、エクスポートします。

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、サーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報 (Hewlett Packard Enterprise の Web サイト <http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>) を参照してください。

© Copyright 2017 Hewlett Packard Enterprise Development LP